

「見せる防犯」について

1 「見せる防犯」とは

防犯活動の積極的なアピールや、その存在を視覚的に訴えることで、犯罪抑止効果を高める取組。

取組例は第3次京都市生活安全（防犯・交通事故防止）基本計画 本冊 p 10 から抜粋。

「見せる防犯」取組例



同じユニフォームを着用して見守り



防犯カメラ設置の表示



安心安全ポスターやのぼり旗の設置



青色防犯パトロール※1



安心安全パレード



門灯の点灯



子ども110番のいえ※2

※1「青色防犯パトロール」
自動車に青色回転灯を装着して地域の自主防犯パトロールを行う活動

※2「子ども110番のいえ」
子どもが不審者に声をかけられる等の危険を感じたときに避難して保護する制度



この街では悪さは
起きへんあ...

（参考）ながら防犯

「見せる防犯」の一種。

買い物しながら、花の水やりをしながら、ウォーキング・ランニングをしながらなど、日常生活の中で防犯の視点を持って行動すること。

以下、第3次京都市生活安全（防犯・交通事故防止）基本計画 本冊 p 10 から抜粋

ながら防犯

「仕事や家事で忙しくて、町内会の見守り活動に参加できない」
「防犯活動って難しそう…」
みんなで活動することだけが防犯じゃない！ 普段の日常生活の中において、防犯の視点を踏まえて少し行動を変えるだけ（ながら防犯）でも「見せる防犯」はできます！



登下校時間に
犬の散歩
買い物

ながら見守りで
地域の目を増やす

花の水やり、
門掃き

花いっぱいキレイな
まちは犯罪が起きにくい

2 議論

(1) 現在の取組状況など

(2) 取組を進めるうえでの課題

(3) 今後の取組内容（総合的に）